

3 短期大学・高等専門学校

(1) 表5に示すとおり、平成27年3月卒業者のうちの就職者総数は741人で、前年より70人増加している。そのうち県内に就職した者は553人で、前年より60人増加している。県内就職率は74.6%で、前年より1.1ポイント上昇している。

県内就職率を学科別でみると、社会学科、教育学科、人文学科で80%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は188人で、前年より10人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄82人(43.6%)、関東66人(35.1%)、近畿22人(11.7%)、中国9人(4.8%)、その他6人(3.2%)、中部3人(1.6%)の順となっている。

進学者総数は226人で、前年より16人減少している。県内進学率は60.2%で、前年より1.4ポイント低下している。

表5 学科別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月
卒業生総数	1,112	1,064	237	200	72	82	147	158	46	32
就職者総数	741	671	170	139	51	35	92	104	21	17
就職率	66.6	63.1	71.7	69.5	70.8	42.7	62.6	65.8	45.7	53.1
うち県内就職者	553	493	139	104	50	31	15	29	15	7
県内就職率	74.6	73.5	81.8	74.8	98.0	88.6	16.3	27.9	71.4	41.2
進学者総数	226	242	25	26	13	35	52	52	20	14
進学率	20.3	22.7	10.5	13.0	18.1	42.7	35.4	32.9	43.5	43.8
うち県内進学者	136	149	7	6	13	30	30	30	-	-
県内進学率	60.2	61.6	28.0	23.1	100.0	85.7	57.7	57.7	-	-
一時的な仕事に就いた者	40	19	8	4	1	2	1	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	3.6	1.8	3.4	2.0	1.4	2.4	0.7	-	-	-
うち県内居住者	22	11	5	3	1	2	1	-	-	-
県内居住率	55.0	57.9	62.5	75.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
その他総数	105	132	34	31	7	10	2	2	5	1
その他の率	9.4	12.4	14.3	15.5	9.7	12.2	1.4	1.3	10.9	3.1
うち県内居住者	45	71	18	18	-	3	1	2	2	1
県内居住率	42.9	53.8	52.9	58.1	-	30.0	50.0	100.0	40.0	100.0

つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月	27年3月	26年3月
卒業生総数	162	146	302	283	146	163
就職者総数	126	111	238	231	43	34
就職率	77.8	76.0	78.8	81.6	29.5	20.9
うち県内就職者	91	89	217	212	26	21
県内就職率	72.2	80.2	91.2	91.8	60.5	61.8
進学者総数	21	21	31	27	64	67
進学率	13.0	14.4	10.3	9.5	43.8	41.1
うち県内進学者	4	4	31	27	51	52
県内進学率	19.0	19.0	100.0	100.0	79.7	77.6
一時的な仕事に就いた者	1	3	19	1	10	9
一時的な仕事に就いた者の率	0.6	2.1	6.3	0.4	6.8	5.5
うち県内居住者	-	3	12	1	3	2
県内居住率	-	100.0	63.2	100.0	30.0	22.2
その他総数	14	11	14	24	29	53
その他の率	8.6	7.5	4.6	8.5	19.9	32.5
うち県内居住者	8	6	10	21	6	20
県内居住率	57.1	54.5	71.4	87.5	20.7	37.7

(2) 図6に示すとおり、平成27年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が302人（40.8%、前年に比べ2.6ポイント低下）で最も多く、次いで卸売業、小売業86人（11.6%、同4.7ポイント上昇）、教育、学習支援業73人（9.9%、同0.7ポイント上昇）、製造業65人（8.8%、同0.9ポイント上昇）の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図7に示すとおり、医療、福祉が266人（48.1%、前年に比べ3.0ポイント低下）で最も多く、次いで教育、学習支援業67人（12.1%、同1.1ポイント上昇）、卸売業、小売業65人（11.8%、同3.5ポイント上昇）、宿泊業、飲食サービス業29人（5.2%、同1.1ポイント上昇）、金融業、保険業25人（4.5%、同0.4ポイント低下）の順となっている。

図6 産業別就職状況の推移（短期大学・高等専門学校）

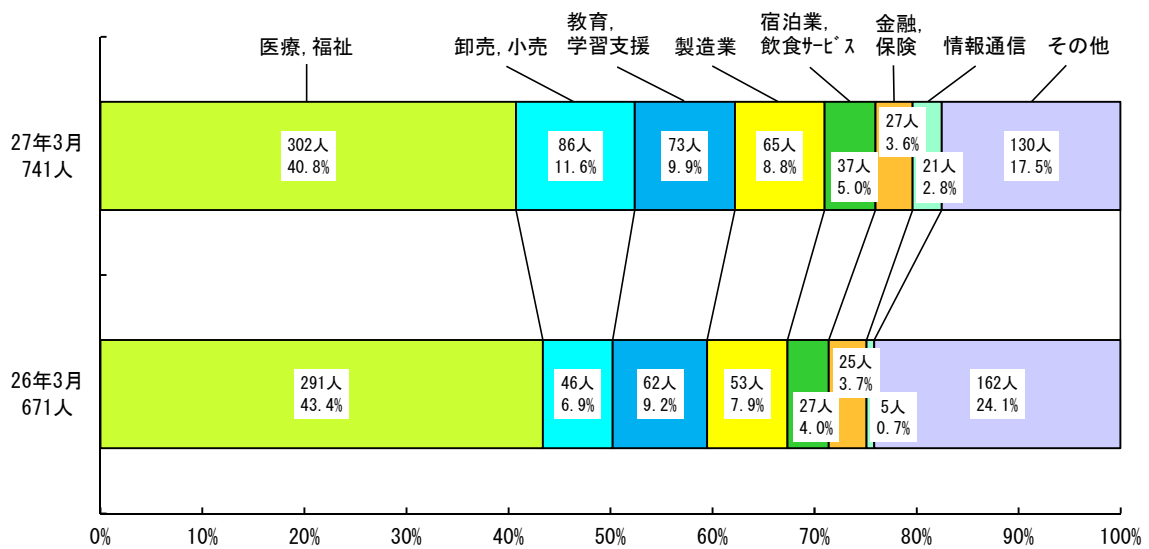


図7 産業別県内就職状況の推移（短期大学・高等専門学校）

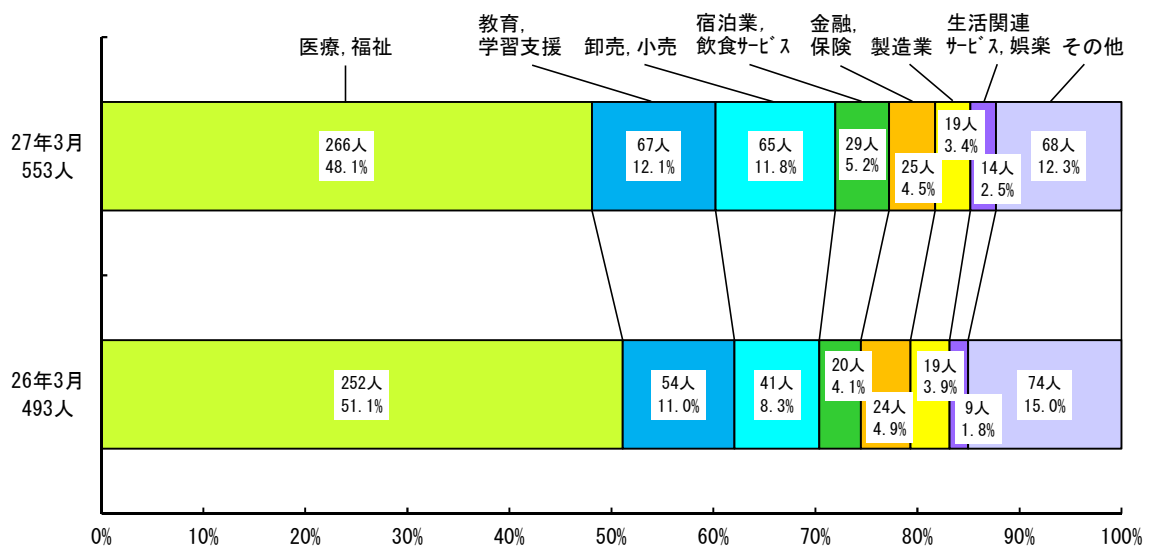


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,518	490	43	53	155	92	569	12	104
構成比		32.3	2.8	3.5	10.2	6.1	37.5	0.8	6.9
短期大学・ 高等専門学校	188	82	-	9	22	3	66	-	6
構成比		43.6	-	4.8	11.7	1.6	35.1	-	3.2
専修学校 (専門課程)	416	252	9	19	33	5	98	-	-
構成比		60.6	2.2	4.6	7.9	1.2	23.6	-	-
高等学校	701	291	2	49	111	86	143	2	17
構成比		41.5	0.3	7.0	15.8	12.3	20.4	0.3	2.4
合計	2,823	1,115	54	130	321	186	876	14	127
構成比		39.5	1.9	4.6	11.4	6.6	31.0	0.5	4.5

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。